

増田かおる

議会レポート Vol. 5 2016年8月2日発行
発行人 増田薫



こんにちは！いつもお読みいただきありがとうございます。

私たちの暮らしと政治はとても密接に関連していますが、日々の忙しさに追われて意識しづらいですね。

私のニュースを通してお伝えできるようにこれからも頑張ります！

増田かおる 6月議会の一般質問

1 松戸市が目指す保育について

Q1：小規模保育施設で過ごす子どもたちの、安心・安全のために、どのように取り組んでいますか？

A1：6月から“利用支援コンシェルジュ（多方面の質問を受け対応する人）”を活用し、全ての小規模保育施設を巡回し、危機管理を中心に相談業務を実施します。また、小規模保育施設の指導監査等も実施するほか、保育士資格の無い方が保育園で働きながら保育士資格を取得することを支援する補助、「保育支援者」の設置にかかる経費の補助等も実施し、“保育の質”が確保されるよう取り組みます。

《増田かおるからのひとこと》

待機児童解消の切り札として、産休明け～3歳未満児を対象に、いわゆるテナントで31か所展開されている「小規模保育」。子どもの成長過程に影響が出ないか心配です。子どもは毎日毎日、ありとあらゆる刺激を受け、新しい発見、実験、体験が繰り返されます。小規模保育所の環境が、子どもの成長にふさわしいのか疑問を持ったので、今後も取材を重ねて、より良い環境作りを提案していきたいです。

●●子ども部 幼児保育課 366-7351●●

2 子どもの放射線被ばくについて

Q1：原発事故から5年、2011年3月の原発事故の影響による初期被ばくについて、国の対応は十分だったと考えていますか？

A1：放射能対策には高度な専門性が必要とされるため、基礎自治体である本市が単独で対策を講じることは非常に難しく、被ばく当初においては国の方針が一定の方向性を示すものであると認識してきました。

《増田かおるからのひとこと》

市長に向けた質問でしたが、答えは部長から。初期の対応は、国の指導が不十分であったため無防備のうちに子どもたちが被ばくさせられたわけですから、自治体として、国に対して初期被ばくの解明を求め、今後の対策を強く要求すべきだと思います。

●●健康推進課 366-7485●●

3 中学校の修学旅行について

Q1：費用はいくらですか？ 集金方法は？

A1：平成27年度は京都・奈良を中心に2泊3日の行程で最高64,400円、最低53,700円。各家庭から複数回に分けて、旅行会社の口座に直接入金する方法をとっています。

Q2：要保護世帯・準要保護世帯が一時的に立て替えなくてはならない現状を変えられないのはなぜですか？

A2：年度初めに認定申請し、6月に認定可否が決定するため、それ以前に行われる修学旅行費を前もって支給することはできません。しかし就学援助者申請数は過去5年間で最大であり、修学旅行費の支払いが厳しい家庭が増えていることは認識しています。少しでも支給時期を早めることができるよう努めていきます。

《増田かおるからのひとこと》

義務教育でありながら、様々な費用が保護者の負担となっています。今回は修学旅行費に焦点を当てました。子どもの貧困が問題となる昨今、そろそろ見直す時なのではないのかと感じています。要保護・準要保護世帯の一時的な立て替え払いを改善できないか、これからも調査し、要望していきます。

●●教育委員会 学務課 366-7457●●

* 矢切の観光拠点の施設について（要望） *

今回は質問ではなく要望にしました。

今後重要になってくるのは、計画の進め方ではないでしょうか。「気づいた時には引き返せなかった」ということがないように、地権者はもちろん、周辺の住民や市民全員に見える形で進めてほしいものです。



「大掛かりな開発となれば市民が納めた多額の税金を使うことになること」「環境への影響が広範囲に及ぶ可能性があること」などが危惧されます。今後、地域の皆さん、市民の皆さんとともに、疑問点を探っていきます。

●●街づくり部 街づくり課 366-7376●●